

令和3年1月8日



西中学校通信

第18号

自主的に考え、正しく行動できる生徒 <自立と自律>

新年あけましておめでとうございます。

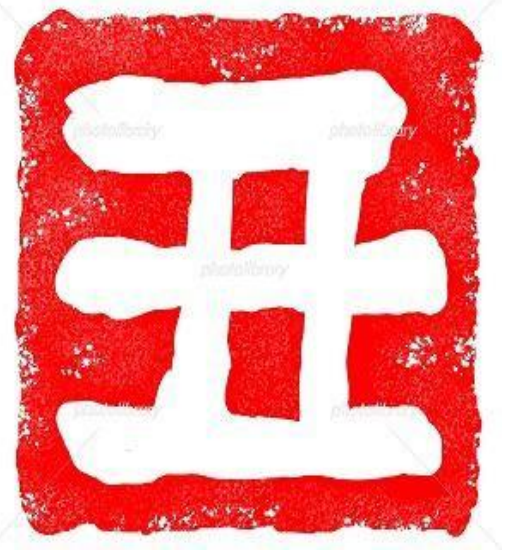
あけましておめでとうございます。

令和3年（2021年）が幕を開け、学校も3学期がスタートしました。しかしながら、新年早々に、埼玉県を含む一都三県に再び「緊急事態宣言」が発出され、大きく緊張感が高まる中での3学期のスタートとなりました。

4月・5月の緊急事態宣言下と同じような制限制約が課されるかどうかはわかりませんが、緩んできているひとりひとりの予防に対する意識を見直し、緊張感のある予防意識が求められています。

さて、今年の干支は「^{うし}丑」です。

丑年は、先を急がず一步一步着実に物事を進めることが大切な年と言われています。昔から、牛は農作業での大変重要な役割を担っていて、速くはありませんが、力強く粘り強く前に進む姿から、丑年は「耐える」「これから発展する前触れ」「芽が出る」というような年になると言われています。



また、「^{ひも}紐」という字が糸へんに丑と書き、「結ぶ」糸に「丑」の字が使われているように、「丑」は、人と人之間を結ぶ存在という意味もあるそうです。

緊急事態宣言が発出され、生徒の皆さんの学校生活においても多くの制限や制約が今以上に課されるかもしれません。逆境にあってもなお「耐えて」「力強く前進」し、「芽が出る」西中学校であることを願っています。

「丑」の字のもつ意味を体現できるように頑張りましょう。

西中生の活躍

「エコライフDAY さやま 2020」標語・川柳

優秀賞

鈴木 さん

おめでとうございます。

教育課程の進捗と新型コロナウイルスの感染拡大について

今年度は、約2か月の臨時休校があり、**教育課程（1年間の教育計画）**の進捗に大きな遅れがありました。2学期終了時点で再確認したところ、**全学年全教科の進捗に遅れはありませんでした。**これは、狭山市内の小中学校が夏季休業を大幅に短縮したことや、臨時も含めた土曜授業の実施、各行事の準備・練習等の大幅縮小によるものと思います。

学校での学習の遅れを心配していた生徒・保護者もいるかと思いますが、**これまでの遅れを取り戻し、ここまで順調に進んでいます。**

しかしながら、新年早々に、一都三県に緊急事態宣言が、再び発出されるなど新型コロナウイルスの感染拡大が深刻な状況になっています。

今後、国や県、狭山市から大きな方針（臨時休校や分散登校など）が出されたり、本校関係者から感染者が判明し臨時休業や学年・学級閉鎖となった場合には、教育課程が遅滞することも考えられます。様々なケースを想定しながらも学校での学習をしっかりと進めていきます。

3年生を送る会について

3月9日に予定されている3年生を送る会ですが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を鑑み、大幅に縮小して開催します。当日、体育館内に入場するのは3年生生徒のみとします。

1. 2年生や各部活動からの3年生へのメッセージなどは事前に撮影し、当日は、3年生が、それらの映像を視聴する形で実施します。

会場内の飾りつけ等については、準備段階での感染予防の観点から、また、授業時間の確保の観点から実施しません。

1. 2年生の3年生に向けての企画については、飛沫感染防止のため、合唱を実施しません。

なお、**新型コロナウイルスの感染状況がさらに悪化した場合や臨時休校等の措置がとられた場合、準備や練習段階で感染リスクを低減できないと判断した場合には、3年生を送る会自体を中止する可能性があります。**